

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 4月 11日

【評価実施概要】

事業所番号	0173100330		
法人名	社会福祉法人さつき会		
事業所名	多機能型グループホーム鷹栖なごみの家		
所在地	上川郡鷹栖町南1条1丁目1番20号 (電話) 0166-59-3321		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成20年2月22日	評価確定日	平成20年4月11日

【情報提供票より】(20年1月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 5月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤 12人, 非常勤 8人, 常勤換算	15.7人

(2) 建物概要

建物構造	準耐火構造・木造 造り	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	34,500 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(1月31日現在)

利用者人数	18名	男性 4名	女性 14名
要介護1	2	要介護2	5
要介護3	3	要介護4	6
要介護5	2	要支援2	0
年齢	平均 85.6歳	最低 76歳	最高 98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団浅井医院・鷹栖町立歯科診療所
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は、認知症高齢者が住み慣れた地域で、安心して住み続ける事ができるよう支援したいという運営者の思いから平成16年に開設され、小規模多機能ホームも併設している。地域住民・行政・医療機関と連携が取れており、職員は熱意を持ってケアサービスを実践し、利用者はゆったりと生活している。また、運営者は職員育成にも力を注いでおり、職員が研修に参加する機会を多く設けるとともに、更なる質の向上に繋がるような取り組みを行っている。今後も、利用者が安心して充実した生活を送り続けることが期待できる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での課題であった項目について、職員間で検討し改善に取り組んでいる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員が自己評価・外部評価の意義や目的を理解しており、全員で自己評価に取り組んでいる。また、課題や気付き等に関して話し合い、サービスの質の向上に繋がるよう努めている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	家族代表・町内会長・民生委員・地域包括支援センター職員・ボランティア代表等を構成員とし、運営推進会議を2ヶ月に1度定期的に開催している。会議では、入居状況等についての報告や情報交換を行い、構成員から意見や要望等を聞いている。今後も活発な意見交換を行い、事業所の運営に反映させるとともに、更なる質の向上に努める予定である。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の来訪時に利用者の生活状況を報告するとともに、家族から意見・要望等を聞き、日々のケアサービスに反映させるよう取り組んでいる。また、事業所の行事や運営推進会議への家族の参加を呼びかけ、情報交換を行うとともに意見等を聞くよう努めている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の行事に積極的に参加し、地域住民との交流を深めている。また、地域活動の場として大正琴の発表会や音楽会等の催し物の開催に活用され、利用者と地域住民とがともに楽しみながら連携を図れるよう努めている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることが出来るよう支援したい、という思いを込めた独自の理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関や職員ロッカーに掲示するとともに、全体会議で確認し、理念の実践に向けて取り組んでいる。	○	今後、来訪者にも理念が一目で分かるよう、理念を具体化する取り組みが期待される。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	夏祭り・盆踊り・敬老会等の地域行事に積極的に参加したり、ボランティアや実習生・地域住民が事業所を来訪するなど、地域との交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が、自己評価・外部評価の意義や重要性を認識しており、全員で話し合い、自己評価に取り組んでいる。また、その過程で気付いた課題については協議し、改善に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1度開催し、家族代表・民生委員・町内会長・地域包括支援センター職員等が参加している。会議では、事業所の運営状況やケアサービスの実状等について報告し、意見交換を行っている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	定期的で開催している「地域づくり懇談会」で、市町村担当者や社会福祉協議会職員等と交流している。また、職員雇用や事業所の除雪支援等で、担当者と連絡を取り、協働しながらともにサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に1度、利用者個別の便りを家族に送付し、生活状況等について報告している。また、緊急時には電話にて連絡している。金銭出納に関しては、月に1度領収書のコピーを送付し、内容を明確にしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に職員の氏名入りの写真を掲示し、家族が来訪時に職員に声かけしやすいよう工夫をしている。また、職員は家族が気軽に意見等を話しやすい雰囲気づくりに努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は最小限となるよう努めるとともに、職員の各ユニットの固定化により、利用者との馴染みの関係を継続できるように配慮している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は職員育成の重要性を認識しており、外部研修に参加する機会を多く設け、職員は積極的に受講している。また、職員を新規採用する場合は、新人研修を実施し、職員の質の確保に努めている。研修受講後は、会議で内容を伝達している。	○	今後、パート職員も含めた全職員で情報の共有ができるような体制を整えることが期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	勉強会・研究会・歓迎会等で同業者と交流し、情報交換等を行いながらともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	○	今後も、同業者と交流する機会を設け、協働しながら更なる質の向上に取り組むことが期待される。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	地域密着型サービスとしての特徴を活かし、併設している小規模多機能ホームのデイサービス・ショートステイを利用し、職員や事業所の雰囲気に馴染んでからの入居となるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者の得意な面を活かし、生徒になったり先生になったりしながら、共に支え合う関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者との会話や行動・家族からの情報を基に、「人生を知るシート」を作成し、一人ひとりの希望や意向の把握に努め、本人本位となるよう支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者本人・家族の思いや意見を採り入れ、毎日の個別ケア記録やチェック表を確認し、職員間で話し合いながら介護計画を作成している。また、モニタリングシートを作成し、ユニット会議で意見交換を行い、意見や案等を反映させた介護計画となっている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月のモニタリングや、利用者の言動を重視した個別記録を基に、介護計画の見直しを行っている。また、利用者の状態変化に応じてそのつど検討し、見直しを行っている。また、本人・家族・医療機関と連携を取り、現状に即した介護計画となるよう努めている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	24時間、看護師と連絡を取れる体制を整え、利用者の日常的な健康管理を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望するかかりつけ医への受診支援を行っている。また、皮膚科・婦人科等に受診する際は、医師に紹介状を書いてもらい、職員が付き添い受診している。また、受診後は家族に結果を報告している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化・終末期の方針について、本人・家族・医療機関を交えて話し合いを重ねている。また、ターミナルケア依頼書・承諾書を交わし、情報を共有しながら対応している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者の誇りを損ねることのない声かけや対応に徹している。また、記録物等の個人情報に関して、保管場所を取り決め、適切に対応している。	○	今後は、面会者名簿を個人別に用意したり、毎月新しい物に替えるなど検討することが期待される。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は利用者の体調を考慮しながら一人ひとりのペースを大切にし、散歩や買い物など希望に沿った支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力に応じて、調理や後片付け等の出来ることを職員と一緒にやっている。また、職員も同席し、和やかな雰囲気の中でともに食事を摂っている。また、外食や出前を利用したり、収穫した旬の食材を使用するなど工夫し、食事が楽しみなものになるよう支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	大まかな曜日の設定はあるが、時間帯など利用者の希望に応じた入浴支援を行っている。また、就寝前には足浴を実施するなど、柔軟に支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	野菜の栽培や新聞取り・編み物など、利用者の生活歴に応じた役割や楽しみごとの支援を行っている。また、日常的に散歩したり、外出先を利用者に選んでもらうなど、張り合いや喜びのある生活となるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買い物など、利用者の希望に応じた外出支援を行っている。また、花見・運動会・映画鑑賞・紅葉狩りなど、野外での年間行事の計画を立てており、日常的に戸外に出掛けられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯上の理由から、夜間は施錠しているが、日中は鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、利用者が外出しそうな様子の時には、職員はさりげなく声かけをして付き添い、利用者の安全面に配慮しながら支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、消防署の協力を得ながら避難訓練を実施するとともに、マニュアルを整備している。また、救急手当て・蘇生術・AEDの使用方法等についての研修に参加している。	○	今後も、定期的に避難訓練や勉強会等を実施し、緊急時に速やかに対応できるよう備えることが期待される。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量を毎日個別に記録し、職員間で情報を共有している。また、利用者の嗜好を考慮し、一人ひとりの状態に応じた支援を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は広く、来訪時に利用者と家族がゆったりと過ごせるようなスペースを確保している。また、要所に低めの洗面台や、使いやすいよう考慮した手すりを設置するなど、利用者が過ごしやすいう工夫している。また、音・光・臭いにも配慮しており、利用者が居心地良く過ごせる空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた馴染みの家具や装飾品が持ち込まれており、本人が安心してゆったりと過ごせるよう支援している。		

※  は、重点項目。